



共生を科学する



福島大学大学院 共生システム理工学研究科 共生システム理工学専攻(博士前期/後期課程)

- 人間-機械システム分野
- 産業システム分野
- 環境システム分野
- 数理・情報科学分野
- 物質科学分野
- 再生可能エネルギー分野

入場無料
申込不要

入試説明会 in Tokyo (第3次学生募集)

内容 ●研究科概要説明(博士前期/後期課程) ●本研究科教員による研究紹介 ●入試概要説明
●出願書類の書き方 ●個別相談

日時

2014
1/11土 [14:00~16:00]

会場

**サンシャインシティ文化会館 7F
709会議室** 東京都豊島区東池袋3-1-4 tel.03-3989-3331 (総合案内)

■池袋駅(JR・東京メトロ・西武線・東武線)約徒歩8分 ■東池袋駅(東京メトロ有楽町線)約徒歩3分

会場
アクセス
MAP



入試日程

- 出願期間/平成26年1月20日(月)~23日(木)午後5時まで
- 募集人員/博士前期課程<30名程度>・博士後期課程<若干名>
- 試験日/平成26年2月15日(土)
- 合格発表/平成26年2月20日(木)
- 試験種別/博士前期課程<一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試>
博士後期課程<一般入試、社会人特別入試>
- 試験科目/博士前期課程<口頭発表、口頭試問>
博士後期課程<学力試験(一般入試)、口頭発表、口頭試問>

お問い合わせ

福島大学
共生システム理工学類支援室

TEL.024-548-5213 FAX.024-548-5208

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

福島大学大学院

共生システム理工学研究科〈博士前期課程〉

「共生を科学する」

近年、個々の科学・技術の発展は目覚ましいものがあります。しかし、その個々の科学・技術の発展も人文・社会科学を含めた多くの科学の発展に支えられています。このような21世紀の科学・技術の発展のあり方を考える時、大学の教育・研究システムも従来型で良いはずがありません。21世紀は、このような多くの科学・技術に支えられて発展してきた科学・技術を、システムサイエンスとしてより発展させることが求められています。共生システム理工学研究科は、これまでの学問体系を超えて理学-工学-人文社会科学を融合し、共生を科学する新しい教育・研究システムです。

人間-機械システム分野

深い人間理解に基づく「人間と共生可能な」 機械システムに関する研究・開発

人間と共生可能な機械システムの実現をめざした研究教育を展開しています。心理・生体など深い人間理解、新たなシステムにかかわる材料やメカトロニクスなどについて研究し、真の意味で人にやさしい機械システムの実現に貢献することをめざします。

●修了後の進路

医療福祉機器、家電機器、自動車関連産業、電力分野をはじめとする企業の設計・開発技術者 など

環境システム分野

自然資源の「量的・質的トータルな保全」に 関する研究・教育

自然資源の量的・質的な現実的な保全に関する研究教育を展開しています。気圏、水圏、固体圏、生態圏などは、複雑に関係・影響し合い、全体として「環境」を構成しています。環境の解析、保全・浄化にかかわる技術を探求し、加えて、地域・経済の広い視野から環境の管理・計画を体系的に取り組むことにより、環境のトータルな保全の実現に貢献することをめざします。

●修了後の進路

化学、食品、製造などの環境対策・品質管理等の技術職、環境コンサルタント、行政機関の環境保全・上下水道処理・都市計画等に関わる職 など

物質科学分野

「環境負荷の少ない」材料科学・新材料開発に 関する研究・教育

環境負荷の少ない新材料開発をめざした研究教育を展開しています。無機物質、有機物質それぞれについて、新たな物質の創製、高度な分析のための技術、加えて、それら物質の循環や環境負荷についても併せて探求し、豊かな技術社会の実現に寄与しつつも、環境負荷を最小限に抑え得る、環境保全に優れた物質科学の実現に貢献することをめざします。

●修了後の進路

化学、金属、繊維、食品、石油分野をはじめとする企業の開発・分析等にかかわる技術職 など

産業システム分野

「省資源・高付加価値型」産業システムに 関する研究・教育

省資源・高付加価値型の産業システムの実現をめざした研究教育を展開しています。少ない資源で効率の高い生産物流システムの構築技術、グローバル競争にも勝てる高い付加価値を備えた製造技術、さらには、これらの技術を有効に活かすためのマネジメントについても併せて探求し、省資源と高付加価値の持続循環型産業システムの実現へ貢献します。

●修了後の進路

製造、流通、コンサルタント分野をはじめとする企業の生産・物流管理者、知的財産権管理者、官公庁の企業振興支援にかかわる職 など

数理・情報科学分野

「知的創生活動に寄与する」数理・情報システムに 関する研究・開発

知的創生活動に寄与する数理・情報システムの実現をめざした研究教育を展開しています。情報システムの設計・開発にかかわる技術向上、複雑な知的創生活動的確な分析・モデリングに不可欠な数理学について探求します。理論から応用までを視野に入れた取り組みにより、より高度な知的活動の支援実現へ貢献します。

●修了後の進路

ソフトウェア、情報通信、電気、運輸分野をはじめとする企業の設計・開発技術者、システムエンジニア など

再生可能エネルギー分野

革新的な「再生可能エネルギーの開発」に 関する研究・開発

首都圏のエネルギーを支えてきた福島県は「再生可能エネルギー先駆けの地」として復興し、発展することが期待されており、学外の研究機関等と連携し、再生可能エネルギー、省資源・省エネルギー、エネルギー資源の需要・供給解析等に関する教育研究を行い、革新的再生可能エネルギーの開発と持続的発展を支える高度専門知識・技術を兼ね備えて社会の発展に貢献することをめざします。

●修了後の進路

国・企業などの再生可能エネルギー関連の職、電気・情報・通信、機械・自動車、化学・医療、運輸・建設・鉄鋼、金融・商社・シンクタンク、公務員 など